

特別講演会

禅宗の法系について

禅宗では釈尊が悟った真理を代々、師から弟子へと直接伝えてきたとされる。本講演では、かかる伝法の連続・非連続と、その系譜である法系の成立について再考する。



講師
芳澤 勝弘

1945年生まれ。同志社大学卒業。財団法人禅文化研究所主幹、国際禅学研究所教授(副所長)を経て、現在国際禅学研究所顧問、駿河白隠塾塾長。専門は禅学・禅宗史研究。著書に『白隠—禅画の世界』(角川ソフィア文庫)、『新編 白隠禅師年譜』(禅文化研究所)など。各種展覧会の監修のほか、国内外で白隠フォーラムを開催。

2018年
10月19日(金) 13:00~14:30
(12時30分 受付開始)
花園大学教堂

定員 120名 参加費 無料

参加申込: 参加をご希望の方は、国際禅学研究所の方へお申し込み下さい。

お申し込み先

花園大学国際禅学研究所

Eメール: kokuze@hanazono.ac.jp

電話: 075-823-0585 FAX: 075-279-3641

また、詳細はホームページをご参照ください。 <http://iriz.hanazono.ac.jp/1019/index.html>